平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	国際金融論 (International Finance)			授業コード	E018501
担当教員名	卓 涓涓			科目ナンバリングコード	E30420
配当学年	3	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	「経済学入門」、「マクロ経済学」を履修済みであることが望ましいです。				
受講心得	積み重ねることが重要な分野であるため、毎回、復習を怠らず、特に、各単元ごとに示す練習問題を理解できるよう、相応の時間をかけ、復習することが求められます。				
教科書	教科書は使用しない。配付プリントにしたがって進める。授業中に、以下の参考書における該当箇所を指示する。				
参考文献及び指定図書	澤田康幸(2003)『基礎コース 国際経済学』、新世社、ISBN 978-4-88384-061-8 橋本優子・小川英治・熊本方雄(2007)『国際金融をつかむ』、有斐閣、ISBN 978-4-641-17703-1				
関連科目	経済学入門、マクロ経済学、金融論				

授業の目的	本講義では、国際金融論の基礎理論である(1)為替相場の理論、(2)国際収支の理論、(3)為替相場制度の理論を講義することを通じ、国際金融に関する諸問題への関心を喚起し、これらを論理的に分析する能力を涵養することを目的とする。
授業の概要	本講義では、主として、(1)為替相場とは何か、また、その決定理論としての購買力平価、金利平価という考え方、(2)国際収支表とは何か、また、為替相場と貿易収支の関係、(3)変動相場制度、固定相場制度とは何か、またそれぞれの制度の下における財政政策、金融政策の効果について講義します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： ガイダンス 講義の目的や学習の進め方などについて説明します。	授業内容の復習と配布プリント「1章.為替相場」による予習を行ってください(1時間)。
第 2 週 ： 為替相場 為替相場と外国為替市場について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「1章.為替相場」の練習問題1-1を解いておいてください(1時間)。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「2章.為替相場制度」による予習を行ってください(1時間)。
第 3 週 ： 為替相場制度	授業内容を復習し、配布プリント「2章.為替相場制度」の練習問題2-1を解いておいてください(1時間)。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「3章.購買力平価」による予習を行ってください(1時間)。

変動為替相場制度と固定為替相場制度について説明します。	
第 4 週 ： 為替相場の理論① 購買力平価について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「3章.購買力平価」の練習問題3-1を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「4章.金利平価」による予習を行ってください（1時間）。
第 5 週 ： 為替相場の理論② 金利平価について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「4章.金利平価」の練習問題4-1を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「5章.国際収支」による予習を行ってください（1時間）。
第 6 週 ： 国際収支表① 国際収支の定義と国際収支表の構成項目について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「5章.国際収支」の練習問題5-1を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「5章.国際収支」による予習を行ってください（1時間）。
第 7 週 ： 国際収支表② 国民所得勘定と国際収支について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「5章.国際収支」の練習問題5-2を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「6章.弾力性アプローチ」による予習を行ってください（1時間）。
第 8 週 ： 国際収支の理論①	授業内容を復習し、配布プリント「6章.弾力性アプローチ」の練習問題6-1を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「7章.アブソープション・アプローチ」による予習を行ってください（1時間）

弾力性アプローチとマーシャル・ラーナー条件について説明します。	時間)。
第 9 週 : 国際収支の理論② アブソープション・アプローチについて説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「7章.アブソープション・アプローチ」の練習問題7-1を解いておいてください(1時間)。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「8章.開放マクロ経済」による予習を行ってください(1時間)。
第10週 : 復習:IS-LM分析① IS曲線(財市場均衡式)について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「8章.開放マクロ経済」の練習問題8-1を解いておいてください(1時間)。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「8章.開放マクロ経済」による予習を行ってください(1時間)。
第11週 : 復習:IS-LM分析② LM曲線(貨幣市場均衡式)について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「8章.開放マクロ経済」の練習問題8-2を解いておいてください(1時間)。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「8章.開放マクロ経済」による予習を行ってください(1時間)。
第12週 : 開放マクロ経済モデル 貿易乗数について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「8章.開放マクロ経済」の練習問題8-3を解いておいてください(1時間)。練習問題の解答について、次の授業で解説します。 配布プリント「8章.開放マクロ経済」による予習を行ってください(1時間)。

第13週： 開放マクロ経済モデル IS-LM-BPモデルについて説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「8章.開放マクロ経済」の練習問題8-4を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。配布プリント「8章.開放マクロ経済」による予習を行ってください（1時間）。
第14週： 開放マクロ経済モデル 変動相場制度と固定相場制度のそれぞれの制度の下における財政政策、金融政策の効果について説明します。	授業内容を復習し、配布プリント「8章.開放マクロ経済」の練習問題8-5を解いておいてください（1時間）。練習問題の解答について、次の授業で解説します。
第15週： 総括 これまでの講義内容を復習するとともに、配布プリントにより練習問題を解き、解答解説し、より理解を深めます。	配付プリント「総括」による復習を行ってください（2時間）。
第16週： 期末試験 15回までの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分とします。ただし、ノート、配布プリントは持ち込み不可です。	試験問題、解答例

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考	受講生の理解度に応じて、講義スケジュールが若干変更する可能性があります。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	新聞やニュースにおいて、為替相場や国際収支の動向に関わる記事等に関心を持つ。
【知識・理解】	為替相場、国際収支、為替相場制度に関わる概念を理解し説明できる
【技能・表現・コミュニケーション】	為替相場の決定理論（購買力平価、金利平価）を用いた為替相場の計算ができる。
【思考・判断・創造】	為替相場と国際収支の関係、変動相場制度と固定相場制度下における財政政策、金融政策の効果に関して論理的に説明できる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**5点**	**5点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**80点**			

【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**5点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**5点**	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	定期試験のウェイトは高くなりますが、練習問題や課題の優劣で加点することがあります。
発表・その他（無形成果）	授業のなかで適宜質問や練習問題を解き、解答解説を行います。優れた解答をした学生は、記録して加点することがあります。